

# THE-KOBECCO

11 

NOVEMBER 1974 NO.163

神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日第三種郵便物認可  
昭和49年11月1日印刷 通巻163号  
昭和49年11月1日発行 毎月1回1日発行



木枯しの中で……



婦人服飾  
**ベニヤ**  
神戸

神戸  
三宮センター街 391-5528・9  
さんちかレディス・タウン 391-1204

大阪梅田阪急三番街  
上本町近鉄百貨店2F  
ミナミ地下センター 372-8093  
779-1231  
213-6128

東京  
日本橋阪急百貨店1F 211-0511  
モデル／林 あや子  
Photo／藤原保之

# ミキモトはたくさんの愛の始まりを知っています。

感激の日のためにミキモトのダイヤモンドリング。



世界の宝石店

## MIKIMOTO

神戸店=三ノ宮=神戸国際会館

TEL221-0062

大阪支店=堂島=新大ビル TEL341-0247

京都支店=河原町蛸薬師BAL TEL241-2970

大阪=阪急・阪神・高島屋・松坂屋・

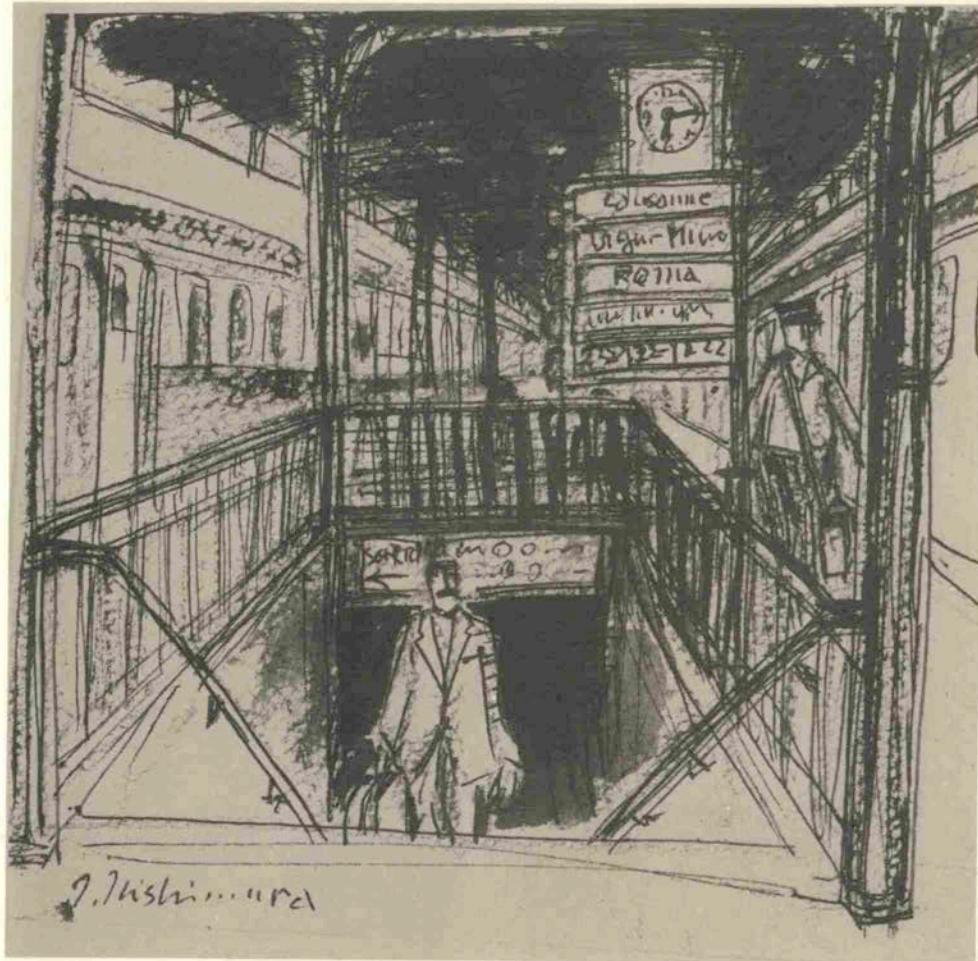
近鉄アベノ店・近鉄上六店

株式会社ミキモト

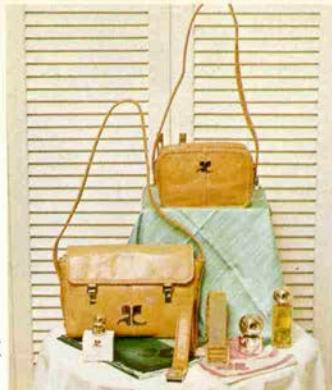
## 旅のスケッチ<11>

ジュネーブ駅／絵・文西村 功

出発時刻を指している時計の下には、行先や等級が掲げてあり  
外国人にもよくわかる。親切な駅である



花のパリからやってきたクレージュの冬は



活動の冬。イキイキとノビノビと小粋

な/パリジェンヌをきどつて



神戸の冬は白い冬



courrèges

KOBE TOR ROAD  
☎(078)331-1952

# // 1 MOTOMACHI-2  
☎(078)331-4707



ORIGINAL FASHION

**HYDE  
PARK**

1-35 YAMAMOTO-DORI

IKUTA-KU KOBE

Tel. 221-6077

## 夢はドラマのヒロイン

原

明美

（テレビタレント）カメラ・米田定蔵

チャンネルを関西テレビに合わせて下さい。木曜日なら午後10時の「凡児の・娘をよろしく」、金曜日なら午後4時の「きのう・きょう・あす」。さあ、現われました。可愛い可愛い女の子。原明美チャンです。仲々いい感じですね。少し冷たいみたい。いやいや、情熱家なんですよ……。兵庫県立西宮高校卒業。二十歳。NHK大阪放送劇団所属研究室第五期生。テレビでのデビューは昨年のNHKドラマ「けつたいな人々」。目下、アシスタントなどで活躍しているのだが、本命はテレビドラマ。何しろ、小学校四年生のときから、将来ハ劇ヲヤルノデス、と誓いをたてていたのだ（自分自身に対するのですが）。中学時代はソフトボールの選手。実力は、さあ、……。スポーツティーンな現在の彼女から推測して下さい。高校時代は、一年間だけ演劇サークルに所属。趣味はピアノと声楽。声楽は声を大きくするためやっているのだから実益も兼ねている。夢はテレビドラマでバリバリ活躍して、ステキなヒロインを演じること。みなさん、明美チャンを応援して下さい。西宮市在住。

（北野界わいにて撮影）



隠れたベストセラーズ



アルバイトニュースであつて、アルバイトニュースではなく…。

今や総合求人誌として変わりつつあります。

私たちは、媒体に対して、求人側、求職側から寄せられている。

要望と期待にこだえて着実に前進しています。

総合求人誌 神戸 078 321-0681  
日刊 アルバイトニュース

編集・発行 (株)学生援護会

神戸支局／神戸市生田区中山手通3ノ64 大東ビル

## ファッショントリトーリー——中原武志

デザイナー・KFS会長 カメラ・米田定蔵

秋も残りわずか。今秋は神戸の街のあちこちでファッショントリトーリーの風がまきおこり、ファッショントリトーリーは市をあげての秋のページエントといった感であった。去年神戸市が初めて試みたファッショントリトーリー市民大学も予想以上の大きな反響を呼び第一回卒業生が中心となつてKFS（コウベ・ファッショントリトーリー・ソサエティ）が誕生した。「ファッショントリトーリーに関するの各分野から集まつた人たちが、企業サイドではない立場から何かやろう」と、全国でも珍しい組織。その中心となつて事を進め、初代会長に選ばれたのが中原武志さん。元町にデザインルームを持つ服飾デザイナーだ。

ファッショントリトーリー——よくわかつたようでいて、その実あいまいな。「ファッショントリトーリー」——「ファッショントリトーリー」というのは、生活文化と流行だと思つんです。一年や二年でファッショントリトーリー都市が生まれるものじゃない。それに神戸の現実を見究める謙虚さも必要でしょ。今はファッショントリトーリーへの理解、意識を深めるよう公報活動に力を入れています」と頼もしい言葉が返ってきた。



# 空のある街 サンこうべ

— 神戸駅前地下街 —

全国ではじめての試み。ユニークな大屋根を通して、星空と青空が見え、花と緑のプラザを中心、文化ゾーンの玄関、交通の拠点として魅力ある地下街(ショッピングタウン)です。国際都市神戸にふさわしく中国街もあるハイセンスショッピングタウン。環境都市神戸にふさわしいエコロジカルなコミュニティロード。



## ●名品街

浮世あられ／元町花見屋、和菓子／兵庫するがや、カメラ／コヤマカメラ、書籍／コーベブックス、人形・玩具／おもちゃのカメラ、レコード／星電社、洋菓子／不二家、薬・化粧品／楠公堂、紳士洋品／ViVi池田、婦人服飾／ブティック青山、服飾雑貨／マルダイ、婦人服飾／ブティックヒロ

## ●中国街

美術・工芸品／中国百貨公司、中国料理／香蘭、酒・食料品／中国百貨公司、衣料・雑貨／中国百貨公司

## ●食通街

サッポロラーメン／北海ラーメン、洋風レストラン／BOON 喫茶・菓子／ジャルダン、喫茶／UCC カフェメルカルド、めん類・丼物／元町から耕、トンカツ／花隈森本、和風レストラン／三ツ輪、寿司／灘寿司



# SUN KOBE

## 営業時間

●一般店舗…AM10時～PM8時30分

●飲食店舗…AM10時～PM9時30分

定休日／毎月第3水曜日

# ある集い★金曜日の集合



絵を勉強するグループは数々あるだろう。絵の師匠もさまざまいるだろう。そして、それぞれが、それぞれであるのだが……。

「このメンバーは一本の線と精神の結びつきを考えることから始まっている。なんでもいいから自分だけの考えを視覚的に定着する。私の家に集まるのはそのための一つの方便だ。それはいつのまにかもう十年もたつてしまつたけれど……」

(元永定正さん)

金曜日の夜、元永定正さんのアトリエに集まり、絵を描き、批評し合い、酒を飲んで人生を語る。絵が絵に終わらず、絵はまた人生である。それは互いの言動の中から、師匠のたまの言葉から読む。

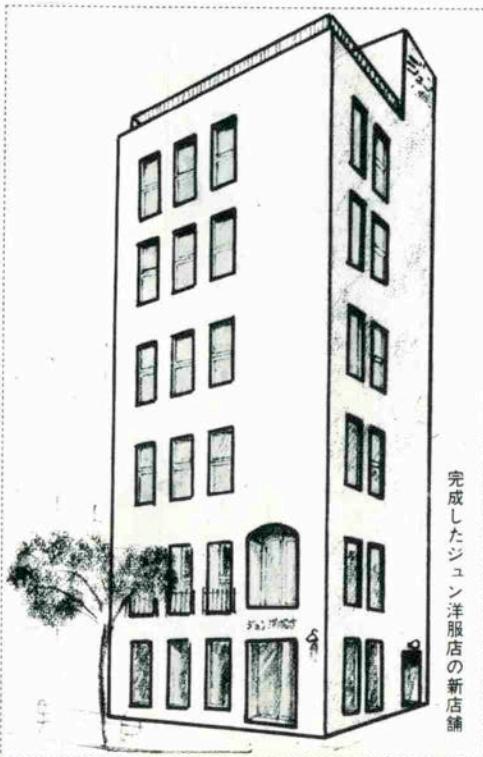
「先生は）ひとつひとつの作品を尊重して、大事に批評をくださる。」

個性人格を生かしたそのやり方は、一方、自分から活動しない者に対しても無視、という厳しさにつながる。それと、女性たち。絵においても対話の中でも仲間の男性連にひけをとらない彼女たち、手ごたえあり、本来はあたりまえな見事さなのである。

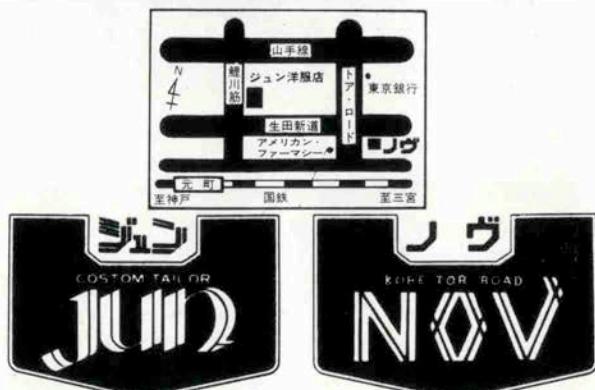
# 身に合った洋服が人柄をつくる

このほど、私ども、ジン洋服店の新店舗が完成いたしました。これまでにも、“洋服発祥の地”神戸の名に恥じない洋服づくりに励んでまいりましたが、新店舗完成を機に、身につけた人に心から愛される洋服づくりに一層精進する考えです。

オーダーの洋服のよさをひとりでも多くの方に知っていただきたい……そう考えています。今後ともより一層の御鞭撻をよろしくお願い申しあげます。



完成したジン洋服店の新店舗



神戸市生田区中山手通3丁目65  
TEL. 神戸(078)391-0779-321-2929

神戸市生田区下山手通2丁目トア・ロード  
TEL. 神戸(078)321-0320



「サンこうべ」オープン。宮崎神戸市長によるテープカット

コウ  
ベスナップ  
↓

空のある街  
サンこうべオープン



▲「君とくる街・サンこうべ」を披露する小坂明子さん

10月1日、神戸駅前地下街「サンこうべ」がオープンした。総面積6,130平方㍍で、国鉄神戸駅と高速神戸駅を結ぶ。中央の地下街広場「グリーン広場」は、プラザの天井が吹き抜けになっており、ヤシ、フェニックス、ハイビスカスなどの熱帯植物が植えられ、地下から青空を見る事ができる。また、グリーン広場には“中国街”、高速神戸駅側には“食通街”、国鉄神戸駅側には“名品街”的ショッピング・タウンが、地上には、八角形のフロアがそのままバスターミナルになっている。オープン記念式典では同地下街の歌「君とくる街・サンこうべ」（小坂務作詞、小坂明子作曲）も披露され、新しい地下街「サンこうべ」は、市民の新たな憩いの場として第一歩をふみ出した。

▼明るいショッピング・タウン



KOBECCO GALLERY  
神戸の子  
ギャラリー



河口龍夫

石で石を彫る。自然の石をコピーするのではなく自分で自然の石を観察して石から石を彫る。なぜそれををするのかと問われたら、なぜ今まで石で他のものばかり彫っていたのか?と答えたい。石を意識する——それは世界の部分の一つである。

人の考え方なかつたものの見方、新しい価値を見つけれる思考のオリジナリティ——もちろん考えている時間の方がはるかに長く、考えを作品に表わすためには、どんな技術の修得でもする。

せられる問い合わせ、それに答える。それが見方である。

今やっていること。星のシリーズ。天体と時間との関係。ある夜の星空、いまこの瞬間見えているこの星たちは、それぞれ何光年もの前の存在である……という事。もう一つは石。石から石へ……。精神の冒險、創造のよろこび、新しい価値を見つける河口氏の存在ゆえにこの言葉がイキイキする。不思議だ。

河口氏の発想の原点は？と問うと、世界の中に生きている世界とは何だろう、自分の存在は？という問い合わせであると答えた。世界と自分との関係を考える。これが発想の原点。ただ変わった考え方というだけのものではない。思考の不变性、大きくいえば河口がやらなくとも人類がやったという作品そういう考え方である。



存在—A STONE OR STONES 42×84×35 (石)